

令和4年度の一般会計決算を、令和5年第3回議会定例会に提出し、議会の認定を受けました。

一般会計の決算の規模は、歳入 206 億 3,524 万円、歳出 191 億 1,651 万円です。歳入と歳出の差引き額は、15 億 1,873 万円です。これには、翌年度に繰り越すべき財源の4 億 1,838 万円が含まれていますので、これを除いた実質収支は、11 億 35 万円となります。また、実質単年度収支は、△3 億 4,762 万円となっています。

# 財政状況

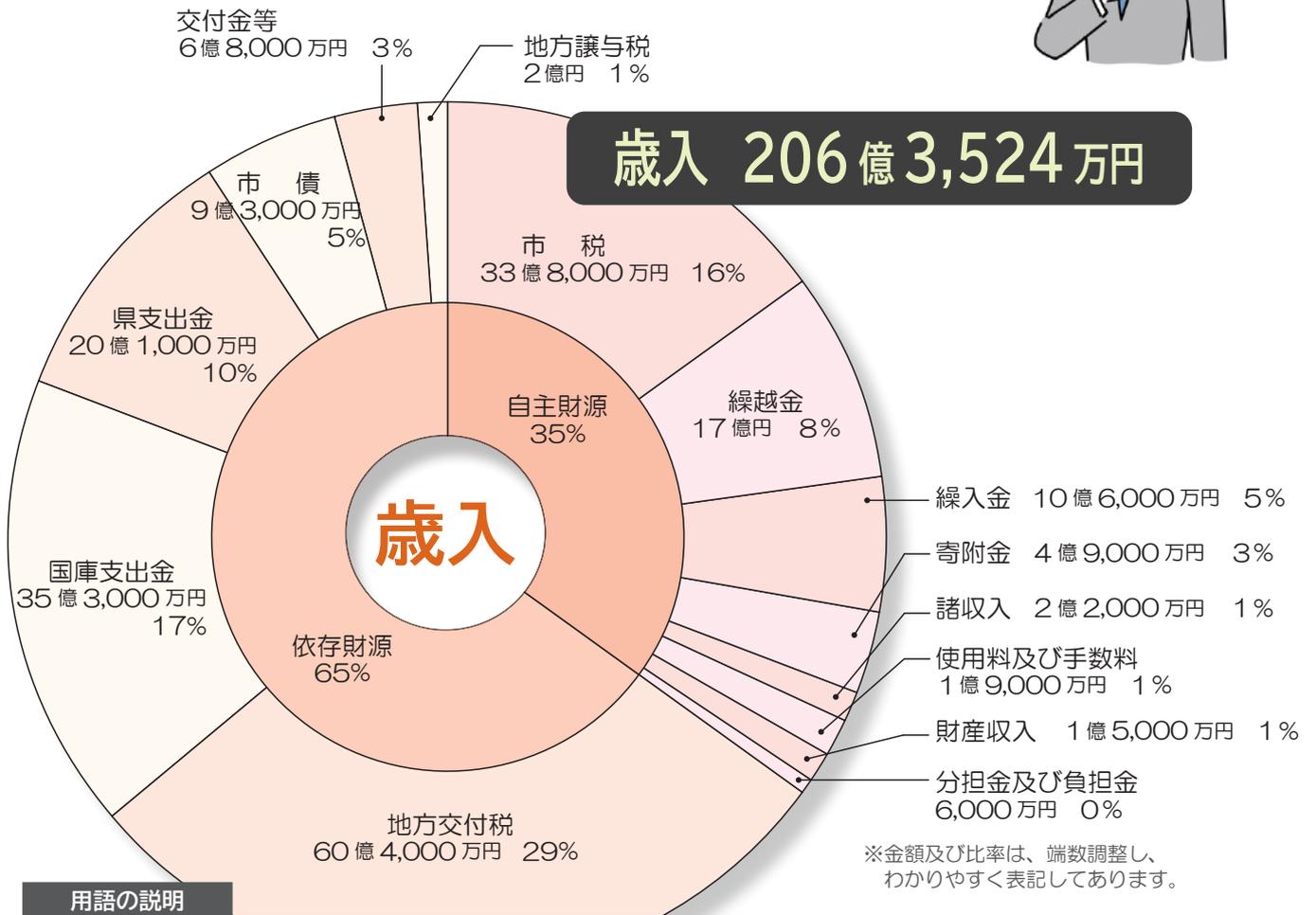
令和4年度決算

一般会計

今後も健全な財政運営に努めていきます。



歳入 206 億 3,524 万円

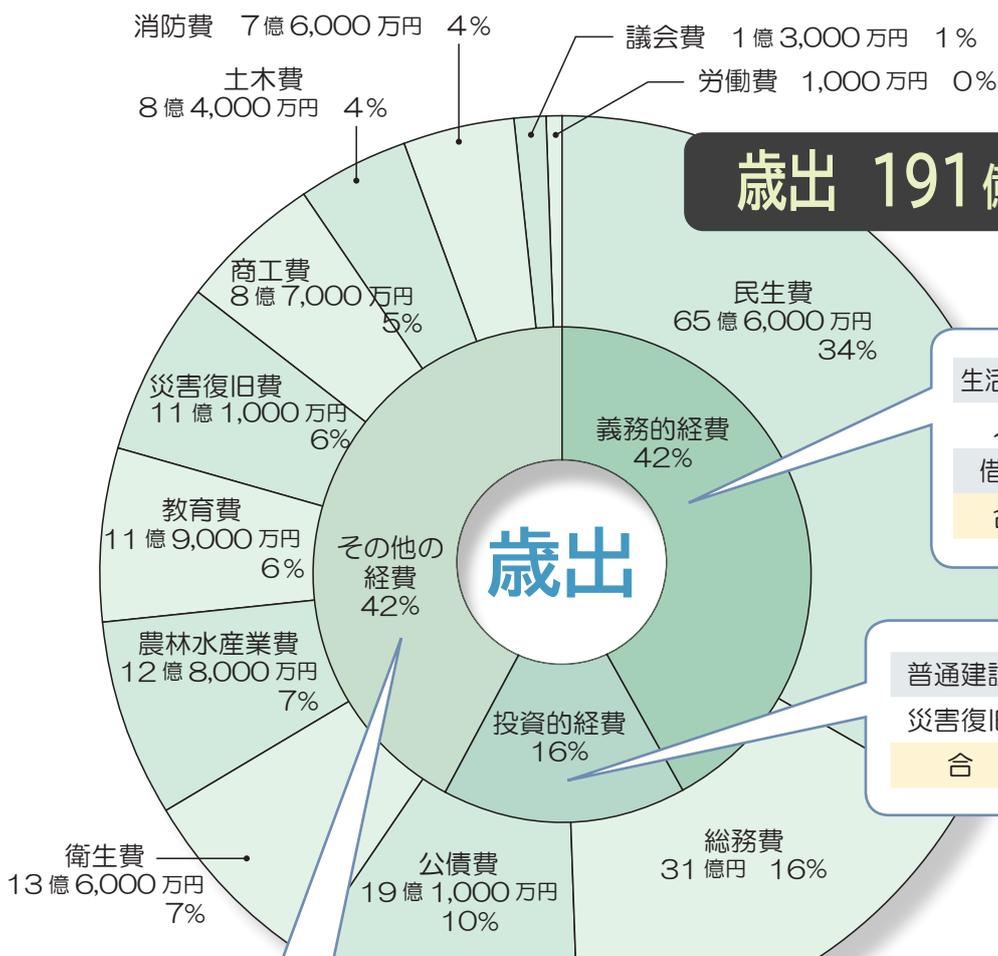


用語の説明

- 自主財源** 地方公共団体が自主的に収入できる財源。
- 依存財源** 国や県から定められた額を交付される財源。
- 地方交付税** 所得税や法人税などの国税の一部について、地方自治体間にある財源の不均衡を調整し、国民が受ける基本的な行政サービスが住む場所によって差のないようにするため、地方公共団体の財政状況に応じて交付されるお金。国から地方への「仕送り」といわれている。
- 市債** 財源不足を補うため、国・県や民間の金融機関から借りるお金。

- 国庫・県支出金** 市が行う特定の事務や事業に対して、必要な費用の財源として国・県から交付されるお金。
- 義務的経費** 市の借金や人件費・扶助費（生活支援経費）など、支出しなければならない経費。
- 投資的経費** 道路建設などのように、社会資本の形成に向けられる経費。
- 公債費** これまで借り入れた市債などの返済に係る経費（借金返済）。
- 実質収支** 単年度の収入と支出の差額から、翌年度に繰り越すことが決まっている財源を差し引いたもの。
- 実質単年度収支** 財政調整基金（将来に備える貯金）の増減を見る指標。

# 歳出 191億1,651万円



|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 生活支援経費    | 39億8,000万円        |
| 人件費       | 22億3,000万円        |
| 借金返済      | 19億1,000万円        |
| <b>合計</b> | <b>81億2,000万円</b> |

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 普通建設事業費   | 19億円              |
| 災害復旧事業費   | 11億1,000万円        |
| <b>合計</b> | <b>30億1,000万円</b> |

※金額及び比率は、端数調整し、わかりやすく表記してあります。

|              |                   |
|--------------|-------------------|
| 物件費          | 21億6,000万円        |
| 国保会計等への繰出金   | 17億円              |
| 積立金          | 16億4,000万円        |
| 補助費等         | 13億8,000万円        |
| 一部事務組合（未来館等） | 8億5,000万円         |
| 維持補修費        | 1億7,000万円         |
| 投資・出資金・貸付金   | 9,000万円           |
| <b>合計</b>    | <b>79億9,000万円</b> |



## 市民一人あたりのサービス内訳

総額：807,831円

基準 R5.03.31 時点の23,664人で算定

### 民生費

277,008円



### 総務費

130,940円

### 公債費

80,897円

### 衛生費

57,477円



### 農林水産業費

54,293円

### 教育費

50,497円



### 災害復旧費

46,854円

### 商工費

36,663円

### 土木費

35,513円



### 消防費

32,091円

### 議会費

5,287円



### 労働費

311円